

らしんばん

編集・発行
大阪府立高等学校PTA協議会
広報委員会
中央区糸屋町2丁目1-1
三和センチュリービル302号
TEL 06(6809)6440
FAX 06(6809)6445
E-mail:oskpk@angel.ocn.ne.jp

<主な記事>

- 総会について
- 学校訪問記
- 近高P 連兵庫大会
- 全高P 連佐賀大会
- 入院見舞金給付状況
- 役員あいさつ

総会

大阪府立高等学校PTA協議会定期総会を平成30年6月20日に天王寺区のホテルアウイーナ大阪に於きまして、開催いたしました。

6月18日7時58分ごろ、大阪府北部を震源として発生した地震において、多くの高等学校が被災され、公務ご多忙の中、大阪府教育庁の方をご来賓としてお迎えし、また、大阪府立高等学校のPTA会長等の方々にご出席していただきました。

総会の開催に先立ちまして、平成29年度の武田会長の挨拶に続き、教育庁からご祝辞を頂きました。

その後、29年度の大阪府立高等学校PTA協議会役員、安全互助会会長に対する感謝状の贈呈及び、広報紙コンクール大阪代表の東住吉高等学校、農芸高等学校、千里高等学校、泉鳥取高等学校、岸和田高等学校の表彰が行われました。

表彰式の終了後、安全互助会の山下会長よりご挨拶を頂き、30年度定期評議会報告を受けました。

次にPTA協議会総会に移り、平成29年度の事業報告、決算報告、会計監査報告がされ、各報告について審議され承認されました。

引き続き、30年度役員の出選が行われ、承認された山本会長の挨拶の後、30年度の事業計画・予算が決議されました。

皆様方のおかげをもちまして、無事に終わることが出来ましたこと御礼申し上げます。



大阪府立高等学校
PTA協議会会長
山本 千尋

皆さんこんにちは。この度、平成30年度大阪府立高等学校PTA協議会の会長を務めさせて頂きたくになりました。和泉高等学校の山本千尋と申します。

会員の皆様には、平素より当協議会の活動に御協力、御支援頂き厚く御礼申し上げます。これから一年間、会員の皆様や幹事校の役員の方々、各学校の先生方などと協力し話し合いながら生徒達が安全で安心して学べる環境を作り、また楽しく学校生活を送ってもらえる様に、精一杯頑張らせて参りますので、よろしく願います。

私が、PTA活動にかかわるきっかけは、長男が小学校3年生の秋に突然訪れました。自宅のインターホンが鳴って、出てみると大勢の人がおられPTA会長をお願いしますと頼まれたのが発端です。その後も中学校、高等学校でも依頼され、現在に至っております。確かにPTA活動は、大変なことが沢山ありますが、引き受けなければ得られないことも沢山あります。一つは多くの人と関わり、自分で自分の知識を高めたり、いろいろな考え方を教わったりします。その都度、自分の知識のなさを痛感しています。

そういった中で、役員を引き受けるかぎりには、出来ない理由を考えるのではなく、どのようにしたら出来るのかを考えながら、みんなで楽しく行いたいと心がけております。各学校では、それぞれの問題点、課題点があると思われませんが、それを解決するには、各校で考えるのではなく、全ての学校の問題として考えられる様な、協議会になっていくという良いなと思っております。ひとり一人は微力ではありますが、全ての

学校を良くして参りたいと協議会の全ての役員は思っておりますので、各校のPTA及び会員の皆様と一体となって目標に向かって進めて行きたいと考えております。皆様方には今後とも御支援、御協力宜しく願います。

大阪府立高等学校PTA協議会 総会



役名	ブロック	氏名	所属校
会長	9	山本 千尋	和泉
副会長	2	瀬川 昇	山田
副会長	第2部会	野崎 奈美子	城東工科
書記	7	萩原 貴幸	東住吉総合
会計	3	加地 美智代	大正
幹事	1	中本 義隆	豊中
〃	4	北口 勝進	野崎
〃	5	木場 博美	布施北
〃	6	佐藤 はるか	港南造形
〃	8	花田 志津江	和泉総合
会計監査	5	武田 保和	柏原東
〃	3	田 矢 泰孝	大手前



訪問シリーズ(四) 港南造形高等学校

【はじめに】

9月26日(水)、大阪市住之江区にある大阪府立港南造形高等学校を訪ねました。台風21号による暴風警報と停電による4日間の臨時休校の影響で、本来なら9月15日(土)に予定されていた文化祭も1週間延期され、文化祭終了直後の慌ただしくされている中で、の学校訪問でした。

今年の夏にエアコンが設置された食堂で昼食をとった後、授業の様子を見学しました。

今回、見学した授業は、15の造形分野に分かれる「領域」という実習の授業で、港南造形高校の中でも特色ある授業の1つです。洋画や日本画をはじめ、木工、染織、漆芸など、生徒たちが制作した作品は、「これが高校生の作品なのか!」と思わせるほど、素晴らしい仕上がりになっていました。

【港南造形高校は日本一の規模を誇る美術系専門高校】

港南造形高校は、30年以上の歴史がある美術系専門高校で生徒数、施設、設備は日本一です。生徒たちは、恵まれた環境の中で「確かな学力」、「プロデュース力」、「発信力」を身に付け、将来、美術の世界で活躍するプロフェッショナルの育成をめざしています。また、大阪府高等学校芸術文化祭、近畿高等学校総合文化祭、全国高等学校総合文化祭など、様々なコンクールで多数の入賞を果たしています。また、府内で開催される展覧会への出品数、受賞数は常にNo.1を維持しています。

【夢を実現し、品性ある人になることを学ぶ場】

美術は際限のない奥深い世界であり、卒業後もさらに学びを深めていくことが大切です。港南造形高校では、進学をめ

ざす生徒に強力なバックアップ体制を敷き、進路支援を行っています。美術、工芸、教育学部など国立公立大や私立大、専門学校等に約80%の生徒たちが進学します。

【夢を実現するための3年間のステップアップ】

1年生…美術について基本的なことを学びます

1週間に7時間、美術の専門科目の授業があり、約1/4が美術の授業です。「造形基礎Ⅰ」、「平面造形」、「立体造形」、「素材研究」で1年生は200名全員が共通で履修します。

2年生…興味・適性に応じて自由に選択できます

1週間に10時間、美術の専門科目の授業が実施されます。共通履修科目の「造形基礎Ⅱ」、15の造形分野から興味や特性に応じて、3分野を選択する「領域」があります。

3年生…志望の進路別に選択できます

美術の専門科目を生徒たちの希望に応じて選択します。共通履修科目は「造形基礎Ⅲ」、「課題研究」となっています。「課題研究」は1年間をかけて卒業制作を完成させます。

全学年…さらなる実技力・学力の向上へ全校あげて取り組んでいます

毎週土曜日に希望者対象の「デッサン講習」を実施しています。普段の授業とは異なる緊張の中で、制限時間内に作品を完成させ、実技力向上を目的としています。また、3年生の希望者対象に普通教科の学力向上を目的とした「センター講習」も実施しています。全校あげて、国公立大学進学など進路実現をバックアップしています。

【学校行事】

体育祭

全校生徒を3つの団にわけ、「競技」、「応援合戦」、「マスコット」、「衣装」の各部門で競い合います。「マスコット」とは、54×36mの大きな応援看板でデザインから制作、設置まで趣向を凝らし、生徒たちで制作を行います。今年度のテーマは「妖怪」。伝統的な妖怪やオリジナルの妖怪など、オリジナリティあふれる作品が制作されていました。

体育祭のもう一つのメインイベントの「応援合戦」は、休日を返上し、多くの練習を重ね、本番では一糸乱れぬ統制のとれたパフォーマンスが披露されます。

また、応援団が身に付けている衣装も生徒によるデザインで、すべて手作りとなっていました。



高校展

300名近くの生徒たちの作品を「大阪府高等学校美術・工芸展(高校展)」に出品します。会場の大阪市立美術館の壁面は港南造形生の作品で埋められます。他校とは比較にならないくらい出品数と高校生離れしたクオリティで圧倒的なパフォーマンスを発揮し、評価を受けた作品は「文化の甲子園」とも呼ばれる「全国高等学校総合文化祭」に大阪府代表として、本校の多くの作品が毎年選出されています。今年度は優秀賞15点、奨励賞71点の受賞があり、「全国高等学校総合文化祭」に大阪府代表として4名が選出されました。

文化祭

本校のもう一つのメインイベントである文化祭は、毎年恒例となっている絵画部による入退場用アーチ、軽音楽部のライブ、演劇部による演劇、模擬店や舞台発表など、趣向を凝らした活気ある発表の場となっています。また、チョークを使用する黒板アートは、他校では見ることのできない造形高校ならではのハイレベルなアートとなっており、一見する価値はあります。来年度の文化祭を是非、ご覧になってください。



芸文祭

高校展に続き、冬期に開催される「大阪府高等学校芸術文化祭(芸文祭)」へも本校から多数の作品を出品します。出品された作品の中で、審査を通過した作品が美術館展示されるため、生徒たちは、毎日没頭して、作品を制作しています。芸文祭でも本校の出品数や入賞数は他校を出し抜いて、圧倒的な数となっています。

【今回の訪問者の感想】

・生徒さんや先生方が明るいことに驚きました。また、生徒と先生の間がすごく良いことにも驚きました。
・生徒さんたちの授業に対する姿勢がとても素晴らしい。みなさんで切磋琢磨して作品を制作していたことに感動

しました。
15の造形分野を各専用教室にて取り組んでいる生徒たちの眼差しは真剣そのものでした。私たちが覗き込んで手を止めることなく、その集中力に驚かされました。個々の個性が作品に現れていました。
生徒たちの作品には鳥肌が立つ出し(笑)。個人的に欲しい作品も何点もあり、夢もたくさんある学校だと感動しました。作品をもっと見てみたいし紹介もしたいです。



今年(2018)は府高P協議会のポロシャツを港南造形高校で作って頂きました。「大阪」をアピールしたデザインで版画部がシルクスクリーンで印刷しました。このポロシャツは、全高P連佐賀大会では大活躍でした。版画部のみならず、ありがとうございます！

第44回近高P連

兵庫大会

(副会長 野崎 奈美子)

第44回近畿地区高等学校PTA連合

会大会兵庫大会が「心時代の夜明け」絆と感謝から生まれる心が未来をつくる」をテーマに神戸国際展示場にて開催されました。
7月15日(日)連日の猛暑の中、朝から近畿各地区より大勢の参加者が神戸国際展示場に来られ、神戸市立須磨翔風高等学校「和太鼓部」による力強い迫力のある歓迎アトラクションの後、兵庫大会がスタートしました。

大会会長・実行委員長・来賓の挨拶、広報紙コンクール表彰と順次進行していききました。
記念行事講演として弁護士・住田裕子氏が「変革期の今：人、意識、どう変わる」をテーマに話されました。
ご自身の経歴、体験談を交え女性の社会進出が難しい中、検事から弁護士への転身、その中での子育ての苦労。それらが修業となり仕事に生かされていると話されました。また得意・不得意よりもやりたい事が大切、苦手に挑戦する人は伸びる、挫折をあげわつても負けずに挑戦し続けた事だ力がついたと話され、本当に強い方だと思えました。そしてこの精神を今の子ども達に是非持つて貰いたいと強く思いました。

昼食は兵庫県立高砂高等学校「ジャズバンド部」の演奏を聴きながら、兵庫県特産物盛りだくさんのお弁当を頂きました。
午後からは実践発表があり
奈良県立奈良高等学校
[The Prime of them (彼らの輝ける日々)に立ち会って]、
和歌山県立海南高等学校大成校舎
「地域と連携したPTCA活動」
兵庫県立小野高等学校
「地域とともに！融和から発展へ」の三校が発表されました。

この大会を通じて多くの役員の方とお会いする事ができ、PTA活動の大きな変革を感じながら子どもたちもたが笑顔で学生生活を送れる様に親としてどうサポートしていくかを懸命に

考え協議する皆様に本当に敬意を払いたいと思います。
最後に、兵庫県の役員方々に大変お世話になりました。深く感謝申し上げます。

平成31年度は和歌山大会です。また皆様とお会い出来る事楽しみにしております。
有り難うございました。

第68回全高P連

佐賀大会

(副会長 瀬川 昇)

第68回全国高等学校PTA連合大会佐賀大会が、8月20日(月)・21日(火)佐賀県佐賀市・鳥栖市・唐津市・嬉野市で開催され、府高Pからの参加105名を含む全国各地から多数の参加がありました。佐賀での開催は初めてということでした。

大会のテーマは「広めよう高めよう慈しむ心」君たちがつくる希望の明日を」ということで、子どもたちが、学校、家庭、地域、社会において「慈しむ心」を忘れず、私たちPTAがその支えとなり、希望の明日を作っていくための第一歩を踏み出す大会にしたいという思いが込められているようです。

基調講演は佐賀県総合体育館で開催され、他の会場へはライブ配信により伝えられました。「レモンさん」こと「山本シユウ」さんという方をご存じでしょうか。頭にレモンのかぶり物をして5年間PTAの会長を務められた個性豊かな人です。ラジオDJで、講演も多数こなされていくそうです。テーマは「レモンさんのビタミントーク！(慈しみの愛言葉！We are シンセキ！)」
近頃、昭和時代の指導者がパワハラ

等で問題視されている中で、昭和時代の子どもの育て方と現在の子ども育て方の違いについてユーモアを交えて分かりやすく話して頂きました。また自身が5年間PTA会長をされた経験を踏まえ、PTA活動の必要性にも触れられていました。色々な気づきが得られた講演でした。

その後は分科会が各会場各テーマに分かれて事例発表が行われました。「学校教育とPTA」「進路指導とPTA」「生徒指導とPTA」「家庭教育とPTA」「AIとともに歩む未来」「ICT活用教育」「主権者教育」と7つのテーマで各校の実践発表が行われました。質疑応答の時間もあり、参考になる事例も多数ありました。

佐賀大会ということで、地元の「はなわ」氏のアトラクション、また佐賀県内の高校の吹奏楽部、太鼓部、合唱部、ダンス部なども大会に華を添えてくださいました。

大会二日目は、分科会での総括と、記念講演として榊タニタ社長、谷田千里氏、佐賀新聞社 富吉賢太郎氏、唐津商工会議所 宮島誠一氏、柔道金メダリスト 古賀稔彦氏、俳優 片岡鶴太郎氏を講師に迎え各会場で行われました。どれも「生き方」について考えられる良い講演であったようです。
3年をかけて準備されたこの佐賀大会、大きな会場がないため4会場での開催となりましたが、それ故に佐賀県内のPTAの皆様の親近感と温かみを感じた大会でした。

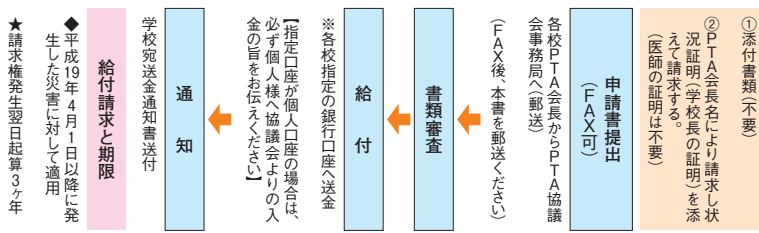
府高Pツアー参加者は、博多駅前のホテルに宿泊し、バスで各会場へ60分から90分かけて各会場へ向かうというスケジュールで、移動時間も長かったかもしれないが、懇親会などでは各校の情報交換がさかんに行われ、大変満足のいく大会となりました。参加者の皆様ありがとうございます。
来年は8月22日(木)・23日(金)京都市で行われます。お近くですのでは是非とも参加されてはいかがでしょう。

入院見舞金規程を改正しました。

平成30年4月1日以降に生じた災害から入院14泊15日～29泊30日(合算可)の支給金額が50,000円になりました。

PTA入院見舞金申請から給付まで

入院見舞金 学校管理下における生徒の災害(傷病・事故等)での入院により入院見舞金を贈る	PTA活動中の災害 単位・ブロック・大阪府・近畿・全国のPTA活動に参加の生徒・保護者・教職員等関係者が災害(傷病・事故等)にあったときに入院見舞金を贈る(物損なし)但し、教職員は単位PTA会費を支払っている会員
入院 2泊3日～13泊14日(連続)	20,000円
入院 14泊15日～29泊30日(合算可)	+ 30,000円
入院 30泊31日(合算可)以上	+ 50,000円
(但し、8万円を限度とする)	
◎疾病による入院見舞金は、独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済の給付対象となる事由に限り給付するものとする。	



大阪府立高等学校PTA協議会の団体補償制度「高校生総合補償制度」・「自転車総合補償制度」

受託 保険 会社	損保ジャパン日本興亜(株)(幹事引受会社) 東京海上日動火災保険(株)・三井住友海上火災保険(株) Chubb 損害保険(株)
担当 代理店	(株)アーク・スリー・インターナショナル (株)宇智ライフサービス (株)ジョインハンズ (株)ベストプロポザル (株)マープル 損保ジャパン日本興亜保険サービス(株)

団体補償制度への中途加入を随時受け付けています。
中途加入のお申し込みは下記ご連絡先までご連絡をお願いします。
幹事取扱代理店：損保ジャパン日本興亜保険サービス(株)
TEL 0120-809-805 (受付時間：平日の午前9時から午後5時まで)

今後の予定

年	月	日	行事名
30	11	1	広報紙「らしんばん76号」発行予定
	12	7	人権啓発研修会 アウィーナ大阪
31	2	1	研究集会(事例発表 3校→2・6・8ブロック) アウィーナ大阪
	5	1	広報紙「らしんばん77号」発行予定
	6	19	総会 アウィーナ大阪

H.31. 7/5(金) ・6(土)	第45回近畿地区高等学校PTA連合会大会 和歌山大会	和歌山県民文化会館(和歌山市)
H.31. 8/22(木) ・23(金)	第69回全国高等学校PTA連合会大会 京都大会	ロームシアター京都・みやこめっせ(京都市)

※各単位PTAにおかれましては、近畿大会・全国大会のご参加に伴う予算化についてご検討をお願いいたします

役員あいさつ

- 第1ブロック幹事校として参加させていただいております。不安のまま、船酔いだけでははしないよう、皆さんと協力しながら頑張ります。
中本 義隆 (豊中高校)
- 第2ブロック幹事校として参加させていただきます。府高Pでは副会長を務めさせていただきます。ここに参加できたのも何かの縁、皆様と協力しながら楽しく活動していきたいと思っております。宜しくお願いします。
瀬川 昇 (山田高校)
- 第3ブロック幹事校として参加させていただきます。府高Pでは会計をさせていただきます。皆さんと協力し、楽しく活動していきたいと思っております。宜しくお願いいたします。
加地 美智代 (大正高校)
- 第4ブロック幹事校として就任させていただきます。一年間を楽しみながら、子どもたちの為になる活動を頑張りたいと思います。宜しくお願いします。
北口 勝進 (野崎高校)
- 第5ブロック幹事校として参加させていただきます。意見交換や情報共有できるこの機会と皆さまとの縁に感謝し、ご指導いただきながら頑張りたいと思います。宜しくお願いします。
木場 博美 (布施北)
- 第6ブロックの幹事校として参加させていただきます。貴重な機会。未来のある子どもたちの為、充実した高校生活がおくれる様、力の限り頑張りたいと思っております。宜しくお願いします。
佐藤 はるか (港南造形)
- 第7ブロックの幹事と書記を担当させていただきます。何分にも会長も初の私ですが、保護者代表として、皆さまからのご意見を耳を傾けて、社会に出ていく子どもたちがより良い高校生活を送れますように自分の役目を果たしてまいります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。
萩原 貴幸 (東住吉総合)

人権啓発研修会

平成30年12月7日(金) ホテルアウィーナ大阪に於いて「大阪とハンセン病問題」をテーマに開催します。
講師は、市民学会事務局と外島保健院の歴史を残す会事務局原田恵子先生と、ハンセン病問題を考えるネットワーク泉北、外島保健院の歴史を残す会共同代表の三宅三千子先生です。
皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

編集後記

第76号「らしんばん」を無事に発行することが出来ました。今年度も府高Pの活動報告を出来る限り紹介させていただきます。宜しくお願ひします。
新年度を迎えたとすると、早いものでもうすぐ半年が経過しようとしています。6月の府高P総会の2日前に起こった大阪北部地震に始まり、7月の豪雨、度重なる台風直撃と、今年度は災害続きで、今一度防災、危機管理の見直しが行われる年となりました。これ以上の災害が無いことを祈りたいこの頃です。
最後に、被害に遭われた方におかれましては1日も早い復興をお祈りします。
(広報委員長 瀬川 昇)



「子どもは社会を映す鏡」。さあ、私たち大人ができることから「変身!」